

砂子屋

太宰治

青空文庫

書房を展開せられて、もう五周年記念日を迎えられる由、おめでとう存じます。書房主山崎剛平氏は、私でさえ、ひそかに舌を巻いて驚いたほどの、ずぶの夢想家でありました。夢想家が、この世で成功したというためしは、古今東西にわたって、未だ一つも無かったと言つてよい。けれども山崎氏は、不思議にも、いま、成功して居られる様子であります。山崎氏の父祖の遺徳の、おかげと思うより他は無い。ちなみに、書房の名の砂子屋は、彼の出生の地、播州「砂子村」に由来しているようであります。出生の地を、その家の屋号にするというのは、之は、^{これ}なかなかの野心の証拠なのであります。郷土の名を、わが空拳にて日本全国にひろめ、その郷土の名譽を一身に荷わんとする意氣込みが無ければ、とても自身の生れた所の名を、家の屋号になど、出来るものではありません。むかし、紀の国屋文左衛門という人も、やはり、そのような意氣込みを以て、^{もつ}紀の国の名を日本全国に歌わせたが、あの人は、終りがあまり、よくなかったようであります。さいわい、山崎氏には、浅見、尾崎両氏の真の良友あり、両氏共に高潔俊爽の得難き大人物にして帷幕^{いぼく}の陰より機に臨み変に応じて順義妥当の優策を授け、また傍に、宮内、佐伯両氏の^{とんとく}新英惇徳の二人物あり、やさしく彼に助勢してくれている様でありますから、まずこのぶんでは、以

後も不安なかるべしと思います。山崎氏も真の困難は、今日以後に在るといふ事に就いては、既に充分の覚悟をお持ちだろうと思います。変らず、身辺の良友の言を聴き、君の遠大の浪漫を、見事に満開なさるよう御努力下さい。

青空文庫情報

底本：「太宰治全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1989（平成1元）年6月27日第1刷発行

1998（平成10）年6月15日第4刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版太宰治全集第十卷」筑摩書房

1977（昭和52）年2月25日初版第1刷発行

初出：「文筆 五週年記念随筆特輯号」

1940（昭和15）年10月30日発行

※初出時の表題は「浪漫万歳」です。

入力：増山一光

校正：土屋隆

2006年1月27日作成

2016年7月12日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

砂子屋

太宰治

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>